

## 平成28年度 交通安全対策審議会の概要

- 開催日時：平成29年3月29日（水）午前10時～午前11時30分
- 開催場所：栗東市役所2階 第1会議室
- 出席者：松村会長、綾井副会長、川寄委員、中嶋委員、吉仲委員、井上委員、  
中村委員、太田委員、田村氏（澤田顧問代理）  
野村市長、事務局（市民部生活交通課）
- 欠席者：小梶委員、西出委員、稲垣委員、坂口委員、青木委員、米川顧問
- 傍聴者数：0名

### 概要

#### 1. 開会

#### 2. 挨拶

- ・野村市長挨拶
- ・委員自己紹介

#### 3. 委嘱

#### 4. 会長・副会長の選任

- ・松村会長挨拶

#### 5. 協議案件

- (1) 平成28年度交通安全対策事業報告について
- (2) 平成28年交通事故発生状況について
- (3) 第10次栗東市交通安全計画について
  - ・資料に基づき事務局より一括説明（質疑・意見については後述）
- (4) その他
  - ・草津警察署交通課企画係長田村氏より、平成29年3月12日施行の道路交通法の改正内容について説明

#### 4. 閉会

- ・綾井副会長挨拶

### 主な意見、質疑応答など

- 栗東市では、守山市に比べて自転車道の整備が進んでいないが、自転車道の整備状況はどうなっているのか。
  - 栗東市において自転車専用道路の整備は今のところ厳しい状況である。新設道路については歩道幅が基準で定まっており、更に自転車レーンを確保するとなると追加の用地買収が必要となる。また、既存の道路での整備において歩道の一部を自転車レーンにすると、歩道の幅員を確保しつつ、工夫をして道路改良をしていかなければならな

い。現状の道路形態の中では、警察と協議しながら、車両通行帯を狭めて自転車通行帯を確保しているところもあり、今後、区画線等による自転車レーンを設置すること等、自転車通行にかかる安全が確保できるよう、出来る限り努力させていただくので、ご理解をいただきたい。

○第10次栗東市交通安全計画で、自転車ルールの啓発を強化していくとのことだが、どのように強化するのか。

→ 現在、市の交通安全団体において、高齢者・幼児・児童を対象に行っている自転車安全教室を今後、更に推進していく予定である。

→ 市の交通安全団体だけに頼るのではなく、栗東市としても教育委員会と連携して啓発活動を進めていって欲しい。

○交通災害共済が終了する理由を教えてください。

→ 交通災害共済について加入者数は減少する見舞金支払額は変わっておらず、基金を取り崩して運営しており、基金が底をつくため終了することになった。

○小野魚新楼前と小野田舎の元気や前の横断歩道に視覚障がい者用の音声の出る信号を追加して欲しい

→ 現在、安養寺 NTT 前の信号のほか数箇所に音声の出る信号を設置しているが、音声が出ることによる相談も市民から受けており、設置可能かの判断については市と公安委員会が一緒になって現地を確認しながら検討していきます。

○県道上砥山上鉤線や安養寺 NTT 前の交通渋滞が激しく、周辺住民の移動にも困難が生じているのでどうにかして欲しい。

→ 国道1号バイパスが開通する際に、県道上砥山上鉤線の信号や案内標識について出来る限りの調整をされており、現在の状況の改善に交通規制等だけでは対応が難しいが、先線の国道1号バイパスの延伸について、関係機関と連携し進捗を図っていくことで、渋滞解消に努めていくので、ご理解をいただきたい。